



ユネスコスクール E S D 活動成果発表会

1月20日(土)中部大学名古屋キャンパスにて、E S D コンソーシアム愛知主催のユネスコスクール E S D 活動成果発表会に代表の児童3名(5年)が参加し、甚目寺小学校と甚目寺小学校の E S D 活動(5年生の活動を中心に)の紹介をしました。発表会後には「工業と農業、伝統産業と最新技術の対比で考えているところがよい」「地域を学ぶことは、地域への愛着を高め地域の担い手を育てることになる。また、地域の方や保護者を巻き込むことで関心の広がりが期待できる」という評価をいただきました。代表の児童は、中学校や高校の代表のひと味ちがった取組にも触れることができました。



がんばりました！音楽部

1月28日(日)に本年度のアマ・アンサンブルコンテストが愛西市佐織公民館で行われ、音楽部の皆さんがすばらしい発表を行いました。3チームが出演し、結果は、銀賞1つ、金賞2つ、内1つがグッドサウンド賞でした。グッドサウンド賞は3年連続の受賞です。

コンテストに先立って校内では、1月22日に演奏会を行い、全校児童で激励をしました。音楽部の皆さんは、9月中旬から授業後の練習を積み重ねてきました。音楽部の練習時間以外に、学校の休み時間、家に帰ってから、休日など、自分で練習した人もいました。目標を仲間と共有し、自分のめあてをもった努力の積み上げが、自信となり、発表本番でも落ち着いて自分の力を発揮することができたのではないのでしょうか。



自分との闘い！マラソン大会

今年度のマラソン大会は、1月30日、晴れ・弱風というまずまずのコンディションのもとで行われました。マラソン大会に向けて、マラソン集会や体育の授業だけでなく、家で走った子も多かったようです。マラソンは「自分との闘い」とか「応援が力になった」とよく言われます。走っているときに苦しくなることもあります、「もう少しがんばろう」という気持ちで走りきったことは、大きな自信となっていきます。そして、「走り抜いた」「目標に向けて努力できた」という事実が自分の財産となります。がんばったみなさんに心から拍手を送りたいと思います。

また、走路の安全確保や飲み物配付等ご協力いただいたPTA役員・保護者・地域の皆様、本当にありがとうございました。近年、諸事情により一般道を使ったマラソン大会ができる学校が少なくなっている中で、今年も開催できたことを喜ぶとともに、マラソン大会が、学校・保護者・地域のつながりを実感できるよい機会であることを改めて確認できました。

